

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月2日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	新温泉町	代表者名	西村銀三
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0796-82-3111
担当者役職		担当者氏名	
住所	669-6792 兵庫県新温泉町2673-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	小塩 篤史
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	AIの民間活用事例やそのメカニズムなど、基礎的なものから実際の事例などわかりやすく講義いただいた。AIも万能ではなく、対人サービスの分野では人間でないとできない業務、あるいは人間がやった方がよい業務があるということも分かった。AIやIoTなどを上手く活用しながら、対人業務に関わる分野や、他社との協調性が必要な業務や調整、創造性が求められる業務へ注力していく必要がある。将来的には業務のすべてを任せられることができる分野も出てくるのではないかと示唆もいただき、地方自治体が進むべき方向性を示していただいた。
アドバイザーへの要望事項	参加者から「行政実務に関連した内容を増やしてほしい」、「研修資料の手元配布があれば」という意見がありました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月26日	14時00分	16時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	浜坂多目的集会施設		最寄駅	JR浜坂駅
	所在地	兵庫県美方郡新温泉町浜坂2673-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩8分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	18人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本町のような小規模自治体では職員数も少なく、一人の職員が多くの業務を抱えている状況にある。このような状況の中、AI等最先端分野の知見を深める十分な余裕がなく、職員個々の意識・意欲に依存しており、組織全体としての知識の底上げを図る必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員研修会実施により、AIやIoTの活用がもたらす自治体業務への影響、将来的な展望について、正しく認識し、業務を遂行する上での基礎的知識とする。このことにより、AI等を導入可能な業務の検討や洗い出しについて、担当業務を行う職員が自発的に行えることを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	AIがもたらす自治体業務への影響と将来展望について、講演方式で、①AI、IoTでどういったことが起きているのか、②AI、IoTの基本原則、③AI、IoTが働き方や生活をどのように変えるのか、④AI、IoTが自治体業務に与える影響、⑤AI、IoTと地域活性化、といったような順序で講義いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	AIの活用といっても、課題を正しく理解し、適正な目的を設定することが重要であるということが認識できた。この設定を誤るといくらAI等を導入しても課題解決につながらない可能性がある。活用ありきではなく、自分たちの町をどのような町にしたいか、あるいは自分たちの業務のあるべき姿を正しく定義するという、機械ではなく人間がすべき本来のことを為したうえで、AIやIoTの活用があるということが共有できたと考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	漠然としたものでもAI等の活用はイメージできたかと思う。しかしながら、より具体的にどのような業務に活用できるか、AIを活用すべき業務等の絞り込みについては今後の課題である。AI等の活用を念頭におきながら、職員それぞれが業務にあたるうえで今後具体化していきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者全般におおむね有意義な研修会だったという回答が得られ、AI等の将来的な業務活用についてイメージしていただけたものと思う。一方で、より具体的な行政事務への活用事例等の紹介を望む声も複数あった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	国や県からの移譲事務の増加や住民ニーズの多様化により業務が増えていく中で、住民は減少し、職員数も将来的に減少傾向が見込まれる。このよう中、AIやIoTを効果的に活用することで、職員がなすべき政策的な業務や創造性が求められる業務へ注力し、全体業務の効率化を図る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

